MDHCだより

NO．９０

R2．５．１８

三河歯科衛生専門学校

理性の衣　～スタンダードプリコーションの実践～

校長　和田　昭

今年も40名の新入生を迎えて新たな年度がスタートします。皆さん方が、それぞれの学年の課題を無事クリアーし、全員揃って次のステップに進まれることを切に願っています。教職員一丸となって献身的な支援を続けていく覚悟です。

さて、昨年末から続くコロナ禍は勢いを増し、医療や教育の現場での混乱が続いています。非常事態宣言が発令されるほどの感染拡大は、何が原因なのでしょうか？私は、感染症予防に対する無知と慢心と傲慢がその要因となっているように感じます。今回の新型コロナウイルスは、感染から発症までの潜伏期間が最長２週間程度と長いため、無症状、無自覚な感染者が広範囲に感染を拡大しやすいという、厄介な特徴を持っています。そのため「自分は無症状だから大丈夫」、「万が一感染しても私は若く健康体だから重症化して死ぬことはない」といった勝手な思い込みが感染を拡大させています。

自分が感染しない、また他人に感染させないためには、自分を含めた全ての人が感染者かもしれないという前提で行動する必要があります。このような考え方をスタンダードプリコーション（標準予防措置策）と言い、医療現場では行動の原則となるものです。診療所での感染予防と社会全体での感染拡大予防とは若干違いますが、医療人としての常識をこの機会に身につけて頂きたいと思います。

人は理性の衣を纏（まと）っているからこそ健全な社会性を保つことができます。社会情勢が不安定で、教育現場も混乱を極めている今こそスタンダードプリコーションの考えに基づいた理性的な行動が求められています。まだしばらく混迷の時期が続くと予想されますが、教育現場の正常化に向けて教職員一同懸命の努力を続けています。

皆様方のご理解と節度ある行動をお願いします。

１　入学式（２４回生）

令和２年度入学式が４月９日(木)に挙行されました。新型コロナウイルス感染拡大が心配されるなか、式典の規模縮小等の予防対策をとりながら、知立市歯科医師会会長をはじめ保護者の方々の出席のもと、新入生４０名の学校生活がスタートしました。

２　２期臨床実習まとめから

１）臨床実習の感想～抜粋～

『患者さんに対する接し方をたくさん学ぶ事ができた。』、『診療補助を中心に実践して学ぶ事ができた。自分の技術の成長を感じながら楽しく実習ができた。』、『口腔外科では、清潔不潔の意識をより高めることができた。外科用バキュームの扱い方も身に付けることができた。３期では周りをよく見て判断し、治療がスムーズに進むように行動したい。』、『病棟での口腔ケアの発声練習では、病室を訪れる度に声が出るようになっていき、機能回復のトレーニングの重要性を実感した。術前・術後の患者さんのサポートがその後の回復に大切で、そこに介入できるこの職業を選んだことを嬉しく思った。』

２）臨床実習自己評価

「基本的事項に関する評価」

①社会人としての基本姿勢（７項目合算平均）

	１期	２期
よくできた	53.9%	58.2%
できた	34.3%	35.4%
あと少し	11.4%	6.1%
できなかった	0.4%	0.3%

②患者理解（２項目合算平均）

	１期	２期
よくできた	63.8%	57.5%
できた	27.5%	30.0%
あと少し	8.8%	12.5%
できなかった	0.0%	0.0%

③学習姿勢（６項目合算平均）

	１期	２期
よくできた	32.5%	27.1%
できた	44.6%	57.9%
あと少し	21.7%	14.2%
できなかった	1.3%	0.8%

「実習帳に関する評価」（５項目合算平均）

	１期	２期
よくできた	40.5%	38.5%
できた	38.0%	46.5%
あと少し	19.5%	14.0%
できなかった	2.0%	1.0%

「歯科診療補助に関する評価（13項目合算平均）

	１期	２期
よくできた	19.8%	16.7%
できた	38.1%	48.1%
あと少し	34.4%	29.2%
できなかった	5.2%	2.3%

自己評価と指導者評価に乖離がある学生には、改善点を考えさせ取り組ませます。今できる実習範囲で少しでもスキルアップできるよう頑張ってほしいです。

このような状況下、指導者の皆様には実習日・人数の変更等対応していただき誠にありがとうございました。

☆臨床実習指導者会議：7/30(木)予定

詳細については後日連絡させて頂きます。